

国民年金保険料が 一月から上ります

35 才未満は二五〇円
35 才以上三〇〇円に

国民年金の保険料額が昭和四十四年一月分から、三十五才未満の人は月二五〇円に、三十五才以上の人は月三〇〇円に、それぞれ五〇円づつ引上げ改定されます。

この保険額の改定はすでに決められていたものです。すなわち、国民年金法では少なくとも五年毎に年金額の引上げを前提として、保険額を再検討することになっており、その第一回として昭和四十二年一月分から二・五倍に引上げられました。

十二月のこよみ

- 1日 歳末助けあい運動
- 4日 人権週間
- 7日 大雪
- 8日 太平洋戦争開戦の日
- 針供養
- 12日 成田山の報恩講
- 14日 高輪泉岳寺の義士祭
- 15日 年賀郵便特別抜開始
- 22日 冬至
- 23日 皇太子誕生日
- 25日 大正天皇祭、クリスマス
- 28日 マス・デー
- 31日 官庁ご用納、大みそか、除夜の鐘

つまり、老令年金では、十五年間保険料を納めた場合は年六万円に、障害年金では年六万円に、母子及び準母子年金では年五万五千二百円に、遺児年金では三万円にと、それぞれ二・五倍に引上げられたのです。

これと同時に保険料額も当然引上げられるべきであったのですが、年金額の引上げに見合った保険料の引上げは、相当大幅なものとなりますので、被保険者に一度に過重の負担をかけないため、昭和四十二年一月と四十四年一月の

二回に分けて引上げるといふ措置がとられたわけです。これはそれぞれの年金給付額が、常に国民の生活水準や経済の変動に即応している必要があるわけで、一方その給付に必要な財源は五年毎に再計算された保険料と、その保険料の二分の一に相当する国の負担金とを合せて積立てておいてまかなうのだからです。

以上のように、昭和四十四年一月分からは変更された額の保険料を納めていただくこととなりますが、誤って変更前の保険料額を納めたり、また納め忘れたりしないように注意して下さい。若しどうしても保険料を納められない事情があるときには、役場の国民年金係で保険料免除申請の手続きをしてくださいます。

暖房器具と厚着とカゼ
乳幼児の冬の健康管理



厳粛に慰霊祭執行

町の戦没英霊三八三柱の慰霊祭は、十一月十六日午後十時から、横芝中学校体育館において、町及び社会福祉協議会、共催で、遺族三百名が参列、神式により厳粛に執り行われました。

体育祭への特別 寄付追加報告

前号でお知らせしました町民体育祭への特別寄付中、左の通り記載洩れがありましたので、追加報告しておわびいたします。(教育委員会)

- 一基 押尾喜世治
- 一基 押尾 隆郎

横芝俳壇

栗山 田島千女
鉄くさき建設現場霜まぶし
名残なく最後の秋や三里塚
栗山 若梅あやめ
木枯しの中行く葬の白き花
乳色に明け行く空や菊の晴れ

古川 藤代ゆう
庇打つ雨かすかなり糸編む
なわとびの子らに誘われ落葉舞う

曾根合 小川佳子
寒椿咲き初めし日に姉嫁ぐ
魚籃携げし翁に潮騒遠のきて

鳥喰 高壁孝子
貼りかえし障子明かると雨の
午後
秋の夜の半月かこむこけら雲

横小 古内青人
乙女椿が咲いた風が泌みわたる
柚子の色賞で銀髪輝やかす

横小 高品虎洞
小春日の乾きてたけき松の幹
おおらかに校庭の落葉掃れけり

募 集

横芝俳壇では一般の方の御投句を募っております。初心者の方の作品を歓迎します。役場内広報係宛お届けください。

暖房器具と厚着とカゼ 乳幼児の冬の健康管理

冬の乳幼児の健康を守るうえで特に注意したいのは、防寒のための暖房や衣服に関する問題で、かぜについてでありましょう。暖房器具の不良と、室内換気が不十分なために起るのがガス中毒です。

とくに炭酸ガスなどの有害ガスは、空気より重いために床上で遊んだり、ふとんに眠っている乳幼児はその影響を受けやすいので注意しなければなりません。また、ストンなど暖房器具が直接原因となつて起るのがやけどなどの

事故です。乳幼児は危険に対する認識が不十分なので、家族が危険から守ってやらねばなりません。暖房器具の取扱いに気をつけると同時に、室内の換気につとめましょう。

せたがりませんが、乳幼児は眠っているとき以外に運動が激しいので、かなりあつがり汗をよくかきます。そのためにもちょっとした原因がカゼをひかせます。肌着はいつも乾いたものを

冬 になると多くなる病気はいろいろのカゼです。カゼのなかには、普通の感冒もあれば、細菌、ウイルスの感染によるものもあります。

乳幼児はからだに抵抗力が十分でないといふので、カゼだからといって油断はできません。悪くならないうちに、医者に見てもらいましょう。

また常にからだに抵抗力をつけておくために、インフルエンザなどに対する必要な予防接種を忘れずに受けたり、冬になると不足するビタミン、たん白質、脂肪などの栄養成分が十分にとれるような配慮が必要